

下大和田谷津田だより

2002年6月号

第12回YPP報告 どろんこ田植えた、わっしょい! 5月11日 曇り

心配した雨が早朝にあがり、下大和田の田植えをしました。田んぼへ降りていく道の両側にはたくさんのクサイチゴが真っ赤に熟していて、田植え前にその甘い味を楽しみました。

集まったのは乳幼児から年輩の方まで総勢27名。まず、起伏のある田をならし、雑草を取りました。YPPで田んぼに慣れている子供たちはこの時もう既に全身泥んこ。たくましくなったものです。田植えは去年のように横一列に並んで、張った糸に沿って順に植えていきました。大勢が並んでいる姿は実に壮観でした。手足にふれる泥の感触が心地よく、アカガエルの赤ちゃんや魚、ちっちゃなミジンコたちの姿に時にキャーキャー言いながら田植えを楽しみました。今年は昨年同様のコシヒカリを上田に、不耕起の下田には古代米を半分は苗で植え、半分は発芽させた籾で撒きました。古代米はノギの色がアカやクロなどで秋には色とりどりの田んぼになることでしょう。

田植えの終わった田んぼを眺めるのは実に気持ちが良いものです。田起こし、畦塗り、田植えと忙しい仕事が一段落してホッとすると農家の方の気持ちが少しわかった気がしました。これからの稲の成長がとても楽しみです。

(参加者: 大人19人・小学生5人・乳幼児3人)

第28回定例自然観察会報告 5月11日 曇り

田植えと同日に行われた観察会で記録された動植物は次のとおりです。

<花> ハルジオン、キショウブ、オオイヌノフグリ、レンゲ、ウシノケグサsp、ナガミヒナゲシ、イヌガラシ、タネツケバナ、ヤエムグラ、イヌムギ、ノダフジ、オオジシバリ、オヤブジラミ、ウシハコベ、キツネアザミ、スカシタゴボウ、オニタビラコ、ハハコグサ、ムラサキケマン、オニノゲシ、ノゲシ、マメゲンバイナズナ、コメツブツメクサ、カラスビシャク、ニセアカシア、オオバコ、カタバミ、イ、クサノオウ、マムシグサ、マスキサ、サワフタギ、シロツメクサ、ノイバラ、コナスビ、カキドウシ、コモチマンネングサ、ノアザミ、スズメノテッポウ、キクバドコロ、マユミ、カニツリグサ、タガラシ、ツボスミレ、キツネノボタン、ニガキ、トキワハゼ、カササゲ、セイヨウタンポポ、カキ、ノミノフスマ、トウバナ、カラスノエンドウ、ゴウソ、コウガイゼキショウsp

<野鳥> ウグイス、カワラヒワ、アオサギ、カワセミ、コゲラ、メジロ、ハシボソガラス、サシバ、スズメ、シジュウカラ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、カルガモ、キセキレイ

<昆虫ほか> クワゴマダラヒトリ(幼虫)、シロシタホタルガ、イオウイロハシリグモ、ガガンボ、ヤマトシリアゲムシ、ゴミグモ、ヒメウラナミジャノメ、ヒシバツタ、カナヘビ、コフキゾウムシ、ヒガシカワトンボ、ナナホシテントウムシ、ヒダリマキマイマイ、ミスジマイマイ、イチモンジセセリ

<水生生物> シュレーゲルアオガエル、ニホンアカガエル、アマガエル、アメリカザリガニ、ミズスマシ、アメンボ

定例観察会と谷津田プレーランドプレイ外(YPP)の活動を中心として、下大和田のようすを皆さんにお伝えします。皆さんのご投稿、ご意見をお待ちしています。 高山邦明